

「地盤情報の利活用と地質リスクマネジメントについて – 品質確保の観点から –」

開催目的

地盤情報の利活用および地質リスクマネジメントの概念は、建設をはじめ、維持管理や防災など各種事業の品質確保や経済性、工期遅延の回避、安全性などに寄与するものであり、効率的かつ効果的な公共事業を実施する上で欠かせないものといえます。

全地連では、平成26年度に地盤情報の利活用に関するガイドブックと地質リスクマネジメントに関するガイドブックを公表しました。そのPR活動として、平成27年度には「ステップアップ講習会」を全国4カ所で開催し、大きな反響と追加開催のご要望を頂きました。

これらガイドブックで取りまとめた内容を発注機関・全地連会員企業・その他地盤情報の利活用等の関係者の皆さまにより広くご理解いただくことを目的に、全地連は昨年度に引き続いて総務省および国土交通省の後援をいただき「ステップアップ講習会」を開催することといたしました。

開催概要

主催等	主催：一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 協力：東北地質調査業協会 後援：総務省、国土交通省	
日時 会場	仙台会場 平成28年6月30日(木) フォレスト仙台（宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45）	
参加対象	発注機関職員（国土交通省、地方自治体）、全地連会員企業	
定員	仙台会場 200名 ※先着順	
参加費	無料	
講習内容	第1部 地盤情報の活用と今後の展開について	講師
	1. 地盤情報の利活用について 国が進めるオープンデータ戦略と地盤情報の利活用の現状等について紹介します。	総務省
	2. 電子納品の重要性とCIMへの対応について CALS/ECによる地盤情報の電子化（電子納品）の状況と利活用の現状について紹介します。また、国土交通省が導入を進めているCIM（3次元モデルによる情報共有の仕組み）の方向性と地質調査業界としての対応策について解説します。	国土交通省 ・ 全地連 情報化委員会
	第2部 地質リスクマネジメントについて	講師
1. 「地質リスク調査検討業務の試行について」 平成26年度から国土交通省の発注業務に「地質リスク調査検討業務」が加えられました。この業務の内容と対応について解説するとともに、今後の展開について紹介します。	全地連 技術委員会	
CPD	3単位	

プログラム

受付：13：00 - 13：25

13:25~13:30	開会挨拶
13:30~14:00	<p><第1部 地盤情報の活用と今後の展開について></p> <p>①「政府におけるオープンデータに関する取組と今後の展開について」 講師：総務省 情報流通行政局 情報流通振興課</p> <p>②「国土地盤情報検索サイト(KuniJiban) - 公的地盤情報のオープンデータ化 -」 講師：国土交通省 大臣官房 技術調査課</p> <p>③「電子納品の重要性とCIMへの対応について」 講師：全国地質調査業協会連合会 情報化委員会</p> <p>質疑応答</p>
14:00~14:30	
14:30~15:25	
15:25~15:35	
15:35~15:50	<休憩>
15:50~16:45	<p><第2部 地質リスクマネジメントについて></p> <p>①「地質リスクマネジメントについて - 地質リスク調査検討業務の試行 -」 講師：全国地質調査業協会連合会 技術委員会</p> <p>質疑応答</p>
16:45~16:55	
16:55	閉会挨拶

お申し込み方法

参加申込書を下記事務局までFAXにてお送りください。

東北地質調査業協会 事務局宛 **FAX：022-298-6260**

《注意事項》

- ・参加証は発行いたしません。直接会場までお越しください。
- ・申込み後キャンセルされる場合は、下記の東北地質調査業協会までご連絡ください。

お問い合わせ先

- ・参加申込み手続き、会場場所に関するお問い合わせ

東北地質調査業協会 事務局 **TEL：022-299-9470**

- ・講習会の内容に関するお問い合わせ

全国地質調査業協会連合会 事務局 **TEL：03-3518-8873**

平成28年度 全地連主催 ステップアップ講習会
「地盤情報の利活用と地質リスクマネジメントについて -品質確保の観点から-」

参加申込書

標記講習会への参加を申し込みます。

平成28年 月 日

参加者氏名		

官公庁・会社名	
住 所	
ご担当者名	
TEL	
FAX	

* 本用紙(必要事項記入の上)を下記事務局までFAXして下さい。

東北地質調査業協会 事務局 **FAX : 022-298-6260**

会場案内図

